

## 1. 経営成績及び財政状態

### 【単独決算の概況】

	2004年度	2003年度	前年比	
	(2004年4月1日～ 2005年3月31日)	(2003年4月1日～ 2004年3月31日)		増減率
売上高	28,462 億円	27,885 億円	577 億円	2.1 %
営業利益	306	329	▲ 23	▲ 7.1
経常利益	316	383	▲ 67	▲ 17.5
当期純利益	▲ 398	170	▲ 569	-

注) 各利益のマイナス(▲)表示は損失であります。

当年度の単独の売上高は、2兆8,462億円で前年比577億円の増収(2.1%増)となりましたが、営業利益は306億円、経常利益は316億円で、前年比でおのおの23億円、67億円の減益となりました。プラットフォーム、電子デバイスのハード部門のコストダウンは確実に成果を見せたものの、ソフト・サービスビジネスの採算性が悪化したことによります。

特別利益では、資産の効率化を図り財務体質を強化するため、保有有価証券の売却による投資有価証券売却益1,414億円を計上したほか、プラズマディスプレイ事業を売却したことなどにより事業譲渡益129億円を計上しました。特別損失では、当年度に事業の悪化した関係会社の株式評価損607億円を計上したほか、現時点において活用計画のない遊休土地について、土地評価損152億円を計上しました。なお、単独決算における関係会社株式等評価損は、連結決算においては期間損益の中にすでに取り込まれております。

これら特別損益に加え、繰越欠損金に係る繰延税金資産について、翌年度の課税所得の見積り額を基礎に確実な回収が見込まれる金額を超える部分に対し、評価性引当金863億円を計上したことにより、当期純利益は398億円の損失(前年度は170億円の純利益)となりました。

## 2. 2005年度の業績見通し(単独)

単独の2005年度中間期及び通期の業績見通しは、以下の通りと致します。

(単位：億円)

	中間期			通期		
	2004年度	2005年度	増減率	2004年度	2005年度	増減率
売上高	12,957	12,650	▲ 2.4%	28,462	28,300	▲ 0.6%
営業利益	▲ 236	▲ 250	-	306	450	46.9%
経常利益	▲ 258	▲ 200	-	316	400	26.5%
当期純利益	▲ 121	▲ 50	-	▲ 398	300	-

この資料に記載した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます(但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)。

- ・主要市場における景気動向(特に日本、北米、欧州)
- ・ハイテク市場における変動性(特に半導体、パソコン、携帯電話など)
- ・為替動向、金利変動
- ・資本市場の動向
- ・価格競争の激化
- ・技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・部品調達環境の変化
- ・提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・不採算プロジェクト発生の可能性